

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	森のまちエコセンター放射能対策事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター				
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり	主管課長	糸井 正人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	所有者から発生する草木等を処分する市民等	意図	クリーンセンターで、焼却処分をできない草木等を適正に管理する。
事業内容	東日本大震災に伴う福島第一原発事故により、森のまちエコセンターで製造していた森のエコ堆肥が販売できなくなったこと、さらにクリーンセンターの焼却灰の放射能濃度が高くなり焼却処分できなくなったことから、市内で発生する草木等を森のまちエコセンターの隣接地（旧清美園）で一時仮保管をし、チップ化を行ない適正な処分を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	製造して販売できなくなったエコ堆肥を処分する事業であったが、平成23年8月からクリーンセンターの焼却灰の放射能問題により、焼却できなくなった草木等の一時仮置きが加わった。その後、一時仮置きしている草木等の処分先が確保できたことから、チップ化後地区外処理を実施。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 仮置き剪定枝搬入量	2502.01	2687.86	2898.74	t	↓↓↓	
	② 仮置き草類（焼却場搬入不可物）搬入量	2998.54	2329.32	2477.47	t	↓↓↓	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	草木等の適正な処分					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		305,717,579	297,922,138	296,708,903			
事業費(b)(円)		298,730,579	291,012,138	289,178,903			
うち一般財源		295,001,579	291,012,138	289,178,903			
職員給与費(c)(円)		6,987,000	6,910,000	7,530,000			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	限りある敷地を有効に活用し、焼却できない草木等を一時仮置きをする。	③取組の課題	一般家庭から出る草木等の処分方法を検討する。
②今年度(H27)に実施した取組	剪定枝及び草木については、チップ化し減容化を図り、適正な処分に努めた。	④今後の改善計画	草木等については、放射能濃度を見極めながらクリーンセンターでの焼却処分を検討していく。